

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： EMM アセンブリーアッセイによるグラム陰性菌制御法の創出
2. 研究代表者： 塩田 拓也（宮崎大学 フロンティア科学総合研究センター 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、EMM (E. coli Microsomal Membrane) アセンブリーアッセイにより、グラム陰性菌の外膜タンパク質の 50%以上を構成する β バレル型膜タンパク質を標的とした、グラム陰性菌の制御法を確立することを目的としている。

フェーズ1では、外膜タンパク質に存在する特徴的な局在化シグナル「Internal signal」の発見、その分子機構解析、標的部位探索、in silico スクリーニング等の研究成果を上げている。また、他の創発研究者との共同研究も精力的に行い、興味深い成果につなげている。フェーズ2の研究計画では、大腸菌以外の様々なグラム陰性菌（ヘリコバクター・ピロリ菌等）を対象としたアセンブリー解析が計画されており、将来的な薬剤耐性菌の治療等への応用を期待する。

以上